

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

| | |
|----------|---|
| 研究課題名 | 間質性肺炎に対する抗線維化薬の有効性に関する後ろ向き研究 |
| 研究責任者 | 浜松医科大学内科学第二講座 須田隆文 |
| 研究実施体制 | 研究責任施設： 浜松医科大学 内科学第二講座 須田 隆文 共同研究施設： 磐田市立総合病院 呼吸器内科部長 妹川史朗 国立病院機構天竜病院 院長 早川啓史 JA 静岡厚生連 遠州病院 診療部長 貝田勇介 静岡県立総合病院 呼吸器内科部長 白井敏博 静岡済生会総合病院 呼吸器内科科長 草ヶ谷英樹 静岡市立静岡病院 副院長 山田 孝 静岡市立清水病院 副院長 増田昌文 静岡赤十字病院 呼吸器科部長 松田宏幸 聖隷浜松病院 副院長 中村秀範 聖隷三方原病院 呼吸器内科部長 横村光司 浜松労災病院 呼吸器内科部長 豊嶋幹生 浜松医療センター 副院長 笠松紀雄 藤枝市立総合病院 第1診療部長 小清水 直樹 |
| 研究期間 | 臨床研究審査委員会承認後 ～ 2023年 10月 |
| 対象者 | 2008年4月～2018年3月までに間質性肺炎に対して抗線維化薬の投与を受けた患者。 |
| 研究の意義・目的 | 特発性肺線維症において、抗線維化薬(ピルフェニドンもしくはニンテダニブ)は、経年的な努力性肺活量(FVC)の低下を、無治療(プラセボ)群と比較しておよそ半分程度に抑制するとされている。ただし、全例に奏功することはなく、有効性の得られる症例群の詳細については解明されていない。同様に、特発性肺線維症以外の間質性肺炎における抗線維化薬の位置づけもまだ定まっていない。 本研究を行うことで、治療導入時における、効果予測因子の推定が期待できる。 |
| 研究の方法 | 研究デザイン 多施設共同後ろ向き研究 方法 当院および関連病院において疑い例も含む原因不明の上葉優位型肺線維症で臨床所見、胸部X線及び胸部CT画像、病理組織、臨床経過をレトロスペクティブに検討し、疾患予後、画像を含めた診断法の確立、外科的肺生検の必要性等を検討する。 |
| 個人情報の取扱い | 本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、 |

| | |
|--------------|---|
| | 外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 個人情報開示に係る手続き | 個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。 |
| 資料の閲覧について | ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 問い合わせ窓口 | 聖隷浜松病院 呼吸器内科 (氏名) 河野 雅人 TEL:053-474-2222(代表) 呼吸器内科外来 9:00~17:00 平日 |